

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	

（注）4年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスが通信機器向けなどで好調となっているほか、生産用機械が海外の設備投資需要を背景に高水準となっているなど、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年1月判断）	今回（4年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	
生産活動	持ち直している	持ち直している	
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期すなかで、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や原材料価格の上昇などによる下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかに なっている」

スーパー販売は飲食料品が堅調となっており、前年並みとなっている。百貨店販売は身の回り品等が底堅く推移しているものの、前年を下回っている。コンビニエンスストア販売は冷凍食品やカウンター商品などが堅調となっており、前年並みとなっている。ドラッグストア販売は新規出店効果のほか、医薬品や飲食料品が堅調となっており、前年を上回っている。ホームセンター販売は家電や日用品に需要の落ち着きがみられ、前年を下回っている。家電販売はテレビやパソコンを中心に前年を下回っている。乗用車販売は納車に遅れがみられ、前年を下回っている。旅行は需要喚起の取組により一部に動きがみられるものの、感染症等の影響により、厳しい状況が続いている。このように、個人消費は、感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

(主なヒアリング結果)

- 感染者数の増加等により、冷凍食品の売上げが伸びるなど、以前ほど顕著ではないものの巣ごもり需要の高まりがみられた。感染症の長期化による調理疲れからか総菜も需要が高い状態で推移している。(スーパー、大企業)
- 特選ブランドを中心とした身の回り品や、宝飾・時計が好調。ワンランク上の商品を求める動きがある。(百貨店)
- ビジネス街は客足が戻りつつあり弁当やカウンター商品などが好調である。(コンビニエンスストア、大企業)
- オミクロン株拡大で検査キットが好調だったほか、飲食料品が堅調となっている。(ドラッグストア、中小企業)
- テレビは買替需要に一巡感がみられ低調。パソコンは新生活需要があるものの、在宅勤務・在宅学習需要の一巡感がみられている。(家電量販店、大企業)
- 引き続き受注は入っているものの、半導体不足の影響等により納車が遅れている状況が続いている。(自動車販売、中小企業)
- 県のキャンペーンにより動きはみられたが、感染拡大等により期待していたほどの伸びはみられなかった。(旅行代理店、中堅企業)
- 3月の地震により休業を余儀なくされたほか、多数のキャンセルが発生した。(宿泊、中小企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

電子部品・デバイスは自動車向けで一部に弱い動きがみられるものの、通信機器向けなどで好調となっている。輸送機械はサプライチェーンの問題により減産の動きが続いている。生産用機械は海外の半導体メーカーにおける設備投資需要を背景に高水準となっている。このように、生産活動は、持ち直している。

- 自動車メーカーの生産調整により、前期比でみると生産量が減少している。(電子部品・デバイス、大企業)
- 5G拡大によるデータセンター向け、高機能化してきている自動車向けなど、各分野で半導体需要が高く、前期に引き続きフル生産となっている。(電子部品・デバイス、大企業)
- 完成車メーカーの生産調整が続いている影響で、生産量を減らしている。(輸送機械、大企業)
- 海外半導体メーカーが大規模な設備投資を実施しているため、好調となっている。(生産用機械、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」

新規求人数が製造業を中心に増加し、有効求人倍率も上昇している。このように、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。

- 自動車、半導体関連からの求人が増加しており、大手に限らず、下請けや部品製造会社などにも求人のすそ野が広がっている。(公的機関)
- 生産が好調な電子部品・デバイスのほか、住宅着工の増加を背景に木材・木製品などを中心に製造業で求人が出ている。(公的機関)

- **設備投資** 「3年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業では、食料品等で減少見込みとなっているものの、情報通信機械、非鉄金属等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
 - 非製造業では、専門・技術サービス等で増加見込みとなっているものの、運輸・郵便、宿泊・飲食等で減少見込みとなっていることから、全体では減少見込みとなっている。

- 量産対応のための投資により増加する見込みとなっている。(情報通信機械、中堅企業)
- 前年度実施の大型投資の反動により減少する見込みとなっている。(運輸・郵便、中堅企業)

- **企業収益** 「3年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 製造業では、食料品等で減益見込みとなっているものの、生産用機械、木材・木製品等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。
 - 非製造業では、小売等で減益見込みとなっているものの、情報通信、卸売等で増益見込みとなっていることから、全体では増益見込みとなっている。

- **企業の景況感** 「『下降』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」4年1-3月期
 - 現状(4年1-3月期)は「下降」超に転じている。先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

- **住宅建設** 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数をみると、持家が前年を下回っているものの、貸家、分譲が前年を上回っていることから、前年を上回っている。

- **公共事業** 「前年度を下回っている」
 - 前払金保証請負金額は、国を中心として前年度を下回っている。

- **消費者物価** 「前年を上回っている」

- **金融** 「貸出金残高は、前年を上回っている」

- **企業倒産** 「件数、負債総額とも前年を上回っている」

3. 各県の総括判断

	前回(4年1月判断)	今回(4年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
青森県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられており、生産活動は緩やかに持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
岩手県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
宮城県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかにになっている		個人消費は新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
秋田県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残るものの、緩やかに持ち直しつつある		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつあり、生産活動は持ち直している。雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。
山形県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しており、生産活動は持ち直している。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。
福島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、一進一退の状況にある		個人消費は新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、一進一退の状況にあり、生産活動は持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。